

令和5年度乳幼児期の家庭教育支援啓発資料・動画企画制作等業務
公募型プロポーザル選定委員会議事録（議事要旨）

項 目		内 容
1	日 時	令和5年7月5日（水） 15時00分から17時10分まで
2	場 所	県庁東館4階教育委員会室及びオンライン（Zoom）
3	出席委員	広島県教育委員会事務局乳幼児教育・生涯学習担当部長（兼）参与 環境県民局 学事課長 健康福祉局 子供未来応援課ネウボラ推進担当監（代理出席） 健康福祉局 安心保育推進課長 広島県教育委員会事務局管理部 総務課秘書広報室長 広島県教育委員会事務局学びの変革推進部 乳幼児教育支援センター長
4	議 題	令和5年度乳幼児期の家庭教育支援啓発資料・動画企画制作等業務最優秀提案者の選定
5	担当部署	広島県教育委員会事務局学びの変革推進部乳幼児教育支援センター
6	開催方法	参集（オンライン併用）
7	議事内容	<p>1 審査方法 提案された企画提案書を基にプレゼンテーションを行い、選定委員会において審査の上、最も得点が上位の提案を最優秀提案者として選定した。</p> <p>2 審査結果 (1) 審査対象者 ① 株式会社中国新聞社 ② 株式会社ビヨゴンピクチャーズ ③ 株式会社トマトコーポレーション ④ 東光印刷株式会社 ⑤ 株式会社TSSプロダクション</p> <p>(2) 審査対象者の評価値 審査対象者の評価値については、別紙「公募型プロポーザル結果一覧」及び「評価基準に基づく評価項目別の総合値」のとおり。</p> <p>(3) 審査結果及び選定委員の評価・選定理由 ① 株式会社中国新聞社 ※最優秀提案者 ・ 啓発資料の企画・構成について、レイアウトが保護者の関心を引くものとなっている。 ・ 動画の演出について、閲覧者の記憶に残るナレーションの工夫が施されている。 ・ 閲覧率向上に向けた取組について、様々な手法を用いながら、啓発資料の情報を子育ての関心度に関係なく、網羅的に届ける工夫が施されている。</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケート回収率向上に向けた取組について、実施方法を具体的に示した上で、それぞれの目標数値を設定しており、目標達成に向けた目論見が整理できている。 <p>② 株式会社ビヨゴンピクチャーズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 啓発資料のデザインにおいて、ユニバーサルデザインを意識した工夫がなされている。 ・ 閲覧率向上に向けた取組について、行動志向が低い非読層の保護者や、情報が届いていない家庭教育への関心が低い非認知層の保護者向けのアプローチ策が不明確である。 ・ アンケート回収率向上に向けた取組について、実施方法ごとの目標数値が不明確である。 <p>③ 株式会社トマトコーポレーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 啓発資料の企画・構成について、親のヒアリングを踏まえた工夫が施されている。また、デザインの色使いが優しく、分かりやすく整理されたレイアウトとなっている。 ・ 啓発資料の動画について、保護者が興味を引きそうな構成となっている。 ・ アンケート回収率向上に向けた取組について、実施方法ごとの目標数値が不明確である。 <p>④ 東光印刷株式会社</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 啓発資料のデザインについて、保護者の興味を引きそうな工夫が施されている。 ・ 閲覧率向上に向けた取組について、行動志向が低い非読層の保護者や、情報が届いていない家庭教育への関心が低い非認知層の保護者を含めた全ての保護者へのアプローチ策としては不十分である。 ・ アンケート回収率向上に向けた取組について、実施方法ごとの目標数値が不明確である。 <p>⑤ T S Sプロダクション株式会社</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 動画の演出について、保護者の興味関心を引き、理解を促す工夫が施されている。 ・ 閲覧率向上に向けた取組について、ユニークで興味深い提案が含まれているが、行動志向が低い非読層の保護者や、情報が届いていない家庭教育への関心が低い非認知層の保護者を含めた全ての保護者に対しての広がりという点で効果が不透明である。 ・ アンケート回収率向上に向けた取組について、実施方法を具体的に示した上で、それぞれの目標数値を設定しており、目標達成に向けた目論見が整理できている。
--	--	---